

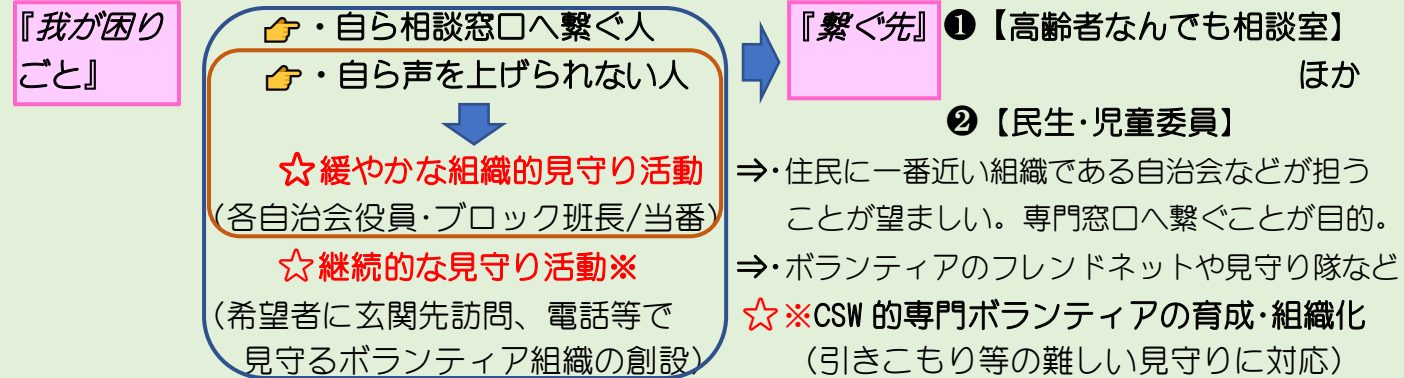
～互助を核とする『ささえ合い活動』のこれからを考える～ **皆様のご意見を！**

以下は一つの考えを提示させていただいたものです。『ささえ合い活動』の在り方は多様な考え方があると思います。以下を参考にいただき皆様の活発な意見交換と積極的な取り組みをお願いします。

◆繋ぐためのネットワークづくり

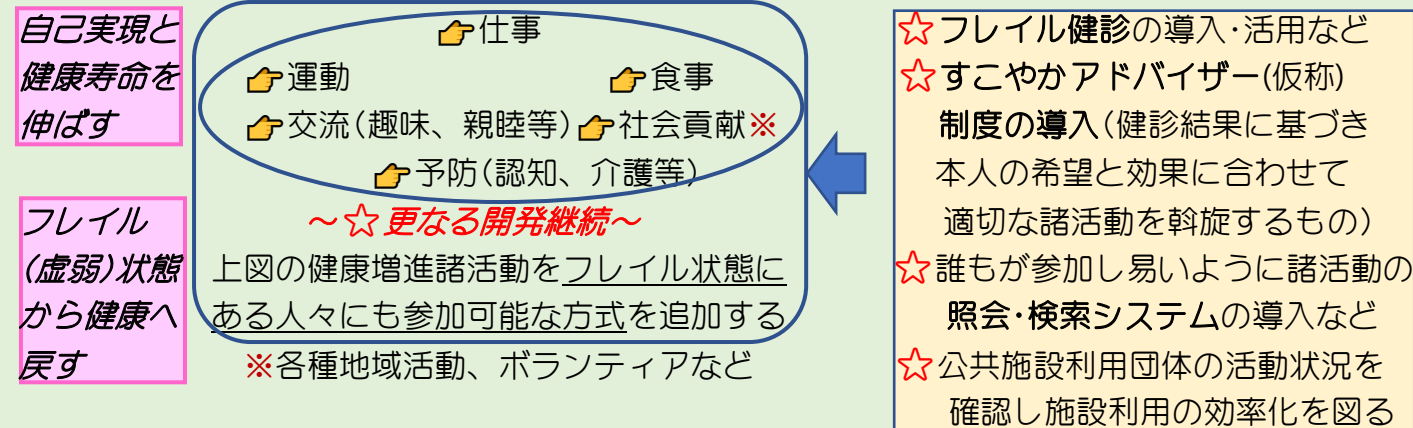
※☆印は取り組みの方向(案)

〔(Ⅰ) 繋ぐためのネットワークを創ろう！〕

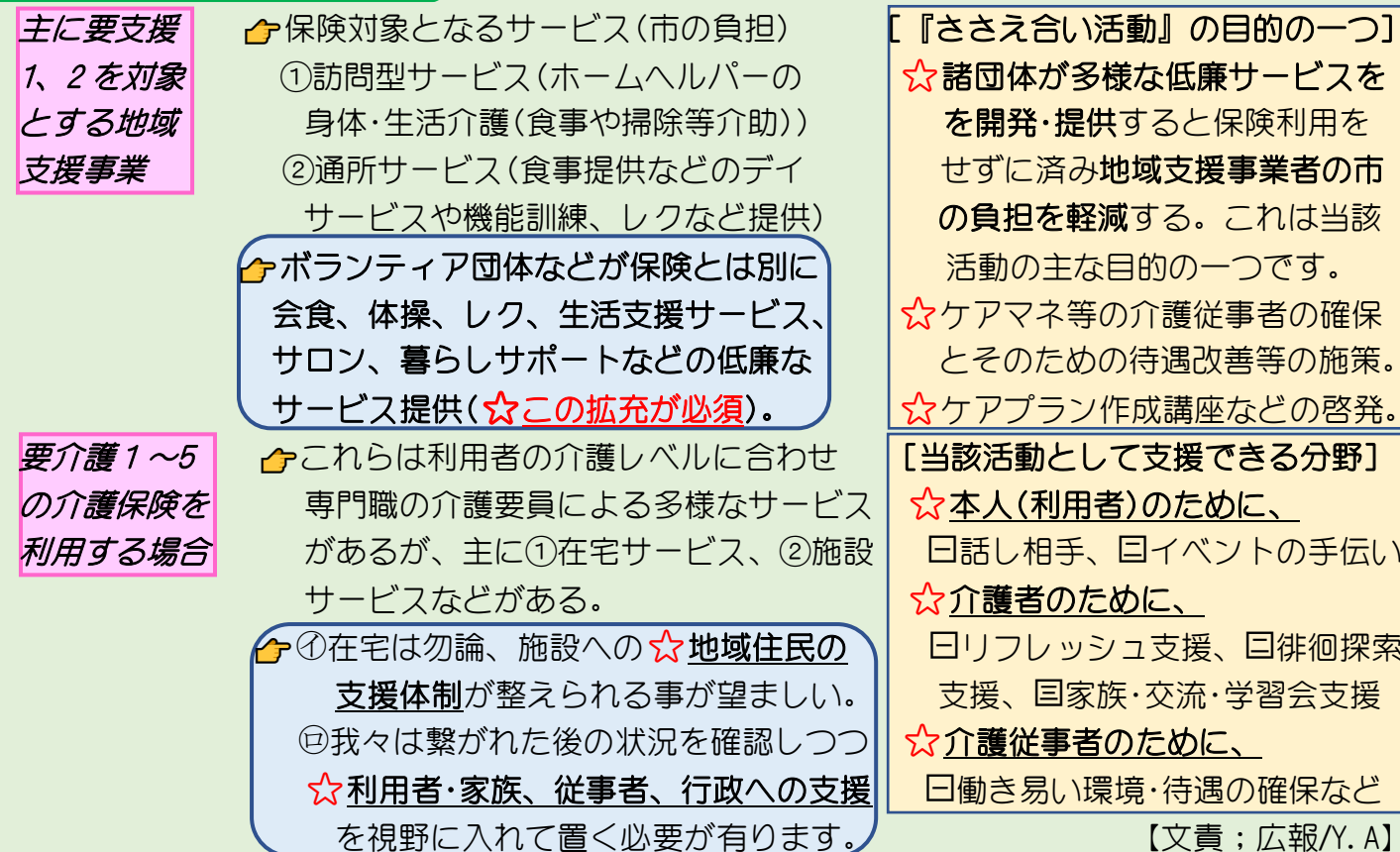


◆自立/頑健(健康)状態の高齢者およびフレイル(虚弱)な状態の高齢者

〔(Ⅱ) 既に多くの健康増進諸活動があるが、もっと増やそう！〕〔特に 65 歳以上の高齢者〕



◆要介護/障害の状態の高齢者〔(Ⅲ) 自らの目でサービス内容を見よう！〕



人生 100 年時代を共に生きる！

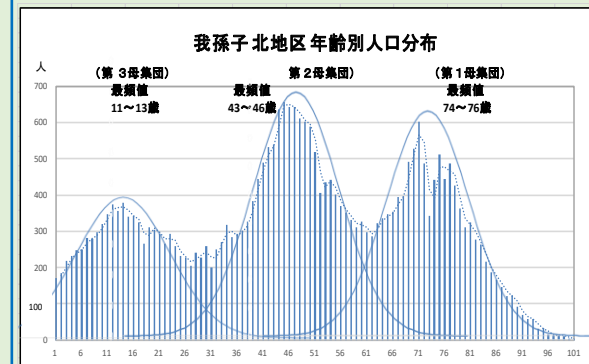
～今、求められる地域での「ささえ合い」！～



見渡せば高齢者ばかり。我が国は 2007 年に超高齢化社会に突入しました。今では 65 歳以上の高齢者は約 3600 万人(人口比 28.4%)に上り、2025 年には団塊世代がこぞって後期高齢者となり、100 歳以上の高齢者が 10 万人に達する日も間近です。このことは、**高齢者医療、福祉、介護等では従来の制度・仕組みで対応しきれない**ことを語っており、私たちも**その備えと対応を迫られている**ことはご存じの通りです。

私たちの住む「我孫子北地区」(布施・久寺家・つくし野・並木・我孫子・根戸)は、高度経済成長期以降、大都市へ人口集中が進んだ 1970 年代に、この地に移転して来られた方々を中心に発展してきました。事実、我孫子市への人口流入は、1970 年から約 10 年間でピークで毎年約 10,000 人が転入しています。

このグラフは、**我孫子北地区住民の年齢構成**をみたものです。(2018 年 4 月:約 31,600 人の状況)



このグラフを読み解くと、

第 1 母集団(約 10,400 人)は、都心への通勤圏にあるこの地へ壮年期に移住して来られた方々が大半で、多くの方は既に現役を退かれ、その老後の生活スタイルは様々です。

第 2 母集団(約 12,700 人)は、第 1 母集団のご子息等を中心に今が働き盛りの方々から退職時期を間近に控えている方まで含まれます。**地域を支える側**として期待されている方々です。**第 3 母集団(約 8,500 人)**は、これからの活躍が期待される若い世代ですが、その割合は生産年齢人口の減少と同様に低下傾向にあります。

我孫子市社会福祉協議会が実施した 2016 年度調査によると、我孫子市での生活が 31 年以上の住民が約 58%と**定住化が進む一方で、独居または夫婦のみのご家庭が増え続け**、約 56%と過半数を超えています。**小家族化と高年齢化の進行により、日常生活での不自由や制約は日々増している**ものと懸念されます。これらから**地域が抱える重要な福祉課題**は、(1)高齢者や周囲の手助けを必要としている方々が、これからは健康で自立した生活ができるよう、如何に支援できるか?(2)現役世代の方々が、どのような形で「ささえ合い」活動に参加できるか…等々を一緒に考え、**「ささえ合い」を実行に移すこと**でしょう！

今、お住いの団地、自治会、町会など身近に、ご家族のケア・介護、子育て、買い物などでご不自由されている方はおられませんか？老々介護、独居・孤立、歩行難、認知・判断力の低下などで不安な毎日を過ごされている方を見かけませんか？

「身の回りの問題」には、個人やご家庭内だけでは対処できないことも多くあります。支援して欲しくても、それを声に出せない方も多くおられます。**「自助」**だけで頑張り続けるには限界があり、**「公助」**に大きな期待を寄せるのも今や非現実的です。それ故、**「地域のつながり」、「ささえ合い」**が、今、私たちは強く求められているのです。

これはあなたご自身、ご家族、隣人が直面する現実の問題です。遠い他国のことではありません。ご縁があって我孫子北地区で生活する私たちです。**地縁や血縁を越え、日常生活での困りごとは、地域で見守り、ささえ合って、いつまでも安心して住み続けられるまちづくりを目指したい**と思います。

貴方も「ささえ合い」活動に参加しませんか！

当協議会の委員の 80%超は、**ボランティア活動**には初めての参加ですが、多くの人と出会い、仲間になり、交流の輪が広がり笑顔で活動されています。一人でも多くの方が、**北地区社会福祉協議会の活動に参加**して戴けますよう、お待ちしております。お問い合わせ先：我孫子北地区 社会福祉協議会 04-7165-3434